

# 月刊 やちまなこ

2019. 7.15 発行

No.260

## 7月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



### 湿原散歩

湿原を覆っていた霧が消え、緑広がる鮮やかな湿原にカッコウの鳴き声が聞こえる。近くではウグイスもそれに答えるように鳴いていた。短い北国の夏、湿原の花も順番を競うように咲き始め、ハシドイの花の香りに誘われるように、昆虫たちも次々と集まって来た。川沿いを走る観光列車、川を下るカヌーに乗客が手を振ったり、タンチョウやエゾシカの姿が見えた瞬間、感動の声とともに早速手元のカメラやビデオ等に収めていた。運行して間もない頃、車窓から景観を眺めていた乗客から「まるで異国の地に来た感じがする」といった言葉を思い出した。



## 塘路フィールドノート【6/15～7/14】

### 【野鳥】

野鳥たちの子育ても佳境を迎え、徐々に巣立ち雛の姿も見られるようになってきました。さえずりの声はあまり聞かれなくなってきた塘路湖畔ですが、代わって雛たちの元気な鳴き声が聞こえてくるようになりました。



アマツバメ (塘路湖畔)

センター上空をよく飛び回っています。時には数十羽ほどの大きな群れでいることも



ハリオアマツバメ (塘路湖畔)

水平飛行の速さがNo.1といわれる鳥。ただ、この時は比較的ゆっくりと飛んでいました



カッコウ (塘路湖畔)

樹上で辺りを窺っていました。「カッコー」の声が聞こえなかったので早でしょうか？



コヨシキリ (コッタロ湿原)

枯れヨシに止まっていた♀。湿原に賑やかなさえずりの声が響き渡っていました



アカハラ (フィトンチッドの森)

目の前の歩道上で餌を探していた♀。こちらに気づいて近くの枝に飛び移ったところ



ビンズイ (フィトンチッドの森)

突然草むらから物音がして近くの枝に止まりました。歩道のすぐ脇に潜んでいたようです

【植物】

5月下旬の記録的な暑さから一転してすっきりしない天気が続いた今年の6月。前例のない天候に植物たちは戸惑ったかもしれません。しかし、夏の花の開花状況を見る限り、現時点ではそれほど影響は出ていないようです。



エゾスカシユリ (塘路湖畔)

今年は昨年よりも花数が多かった気がします。特に国道脇の土手沿いは華やかでした



ヤナギトラノオ (塘路湖畔)

湿原性の花ですが、塘路湖畔では稀です。この場所での確認は初めてかもしれません



ハシドイ (塘路湖畔)

センター前の町道沿いで見頃を迎えたところ。周辺には甘い香りが漂っていました



ホザキシモツケ (コッタロ湿原)

釧路川をバックに咲くピンク色の花。鮮やかな色彩が夏本番の到来を感じさせます



カラフトイバラ (コッタロ湿原)

大きなピンク色の花はそろそろ終盤。入れ替わって赤い実が目立ってきています



ワタスゲとサギスゲ (コッタロ湿原)

サルルン沼付近の光景。白い綿のような小穂がゆらゆらと風に揺られていました

◎今年チョウが少ない？

タテハチョウの仲間、サトキマダラヒカゲとヤマキマダラヒカゲの大発生は昨年7月の塘路湖畔における大きなトピックでしたが、今年はその二種のチョウをあまり見かけません。昨年の今頃は風景のどこを切り取ってもその姿が目に入ってくるほどでしたが、今年をよく目を凝らして探さないとなかなか見つからない状況です。

一昨年はエゾスジグロシロチョウ、昨年は「サト」と「ヤマ」のキマダラヒカゲ二種。塘路湖畔では二年連続でチョウの大発生が続いていました。しかし、今年はいくつかのチョウの個体数が少なめで、やや寂しい感じがします。



センターの外壁に止まる  
ヤマキマダラヒカゲ

【講座開催のお知らせ】ペーパー工房「切り絵でアイヌ文様作り」



塘路湖エコミュージアムセンターでは下記の日程で折り紙とハサミを使ったアイヌ文様作りの講座を開催します。体験は無料、時間内であればいつでも体験できます。(作業時間は20～30分ほどです)

○開催日  
8月10(土)・11(日)・12(月)

○時間  
10時～12時と14時～15時の2回



## ◎土器作りを体験



講師の坪岡さんから丁寧に土器作りのアドバイスを受けてました。

6日、自然ふれあい行事「縄文土器作り講座」開催しました。講師の標茶町博物館学芸員の坪岡始さんから、縄文時代の釧路湿原の様子を塘路周辺で出土した土器や鍬などを含め、参加者に見せながら解説してもらいました。最初に粘土で底の部分を作り、その上にひも状にした粘土を積み上げて高さを増しながら土器を作りました。午後からその表面に文様付け作業となり、講師から粘土板にいろいろな種類の縄で文様を付け、その特徴を教えてくださいました。他に木の枝や貝殻などを使って自分だけの!?土器作りを楽しんでいました。

仕上げた土器は自然乾燥を経て、8月に野焼きをして完成。焼きあがった土器は粘土とは違う姿に変身します。その様子を見たい方は見学できます。

## 8月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### 釧路湿原 自然と歴史を訪ねて

[日 時] 8月10日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] シラルトロ湖・蝶の森周辺(集合場所はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### 盛夏の花を見に行こう

[日 時] 8月4日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター  
(0154-65-2323) まで

### ザリガニウォッチング

～ウチダザリガニ編～

[日 時] 8月11日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 6/15(3:42,19:03). 6/30(3:45,19:06). 7/14(3:54,19:01)

～編集後記～

■夏の季節を迎えた釧路湿原、塘路湖は朝早くからカヌーを見かけるようになりました。丘陵地のサルボやサルルン展望台、コッタロ湿原展望台、エコミュージアムセンター隣の湖畔歩道なども、周りの景観や散策を楽しんでいる人の姿を国外観光客も含め、見かけます。今年は曇の日が多いようですが、釧路市街地と比べ、晴れた日には気温も高くなりますので、屋外散策の際には水や日傘、帽子を用意してください。

### 釧路湿原国立公園

#### 塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野  
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004  
E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム [torokoemc](#)

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料